



こんにちは、 岡田よしひで

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

2021年9月12日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.97

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

9月定例会の議案説明

県から9月定例会に提出される補正予算案の一回目の説明を受けました。規模は9月としては過去8番目に大きい160億170億円。このうち新型コロナウイルス感染症対策に130億140億円、河川や道路事業など土木事業に30億円程度があてられます。県は新型コロナウイルス対策として、これまでに300億円余りを予算化しています。

新型コロナウイルス対策では、感染予防、感染拡大防止と、経済影響対策に必要な予算が措置されます。

感染予防、感染拡大防止については、患者の入院病床や宿泊療養施設を確保するなど、医療提供体制の強化を図ること、また、夜間・休日相談窓口の設置、生活物資の配布など、自宅療養者等の健康面、生活面の支援が盛り込まれています。



経済影響対策では、事業の継続と雇用維持への支援として、営業時間短縮

要請により影響を受けた事業者に対する、県独自の給付金や、新型コロナウイルス感染症が長期化し、厳しい状況にある事業者に対する追加的な支援、休業等により収入が減少し、生活が困窮する方への生活福祉資金貸付を11月末まで延長したことに伴う予算措置。

また、社会・経済構造の変化への対応として、農業、水産等のデジタル化や県内企業のデジタル人材の確保に向けた取組の強化、カーボンニュートラルの実現に向けた、グリーン化に係る新技術・新商品開発支援などが予算措置されています。

定例会は9月22日(水)開会、10月14日(木)閉会予定です。中根さち議員が代表質問、米田みのる議員と私が一問一答の質問に立ちます。皆さんの声をしっかり届けて頑張ります。

菅首相が退陣表明

菅首相が総裁選に立候補しないと表明。後手後手の新型コロナウイルス感染症対策などで、国民の世論と運動に追い詰められての退陣となりました。

◎若い人から高知の面白い話を5百字でと依頼されました。通信に転載。

受け継ぎたい土佐人氣質 (その一)

ネットで「とつぽーこき」を検索すると出てきたのが、「どくれ、とつぽーこき、そそくり、いごつそうと言えどこの都道府県の気質を表したものは?」。ベストアンサーは、もちろん「高知県」。「とつぽーこき」は殆ど使わないので調べたら、ほら吹きのこと。また、「ひょうげ」というのもあって、ひょうきん者の意。土佐の民話には実在した人が多く、「中村の泰作さん」もその一人。中平泰作という立派な名前です。自分の名を冠したお菓子を見たら、なんといつたか。泰作さんは行商人で、とんちをつかって人をついだり、からかったりした逸話が多く、幕末(安政四年「1851年」)に亡くなりましたが、明治から今日まで有名人。西の泰作さんに対して、東に誰かいないかと考えると、いました。藩政時代の初めの頃まで遡りますが、野市の「深淵の半四」。武家に仕えた半四郎という人です。念のためネットで検索しましたが、歌舞伎役者しかでてきません。とんちがきき、力持ちで、物部川が渡れないと聞いて、その怪力で杭を打って板を乗せ、戸板橋を架けたといえます。次回、紹介します。議論好きで、右と言えは、いんげ左というのが土佐人氣質。この気質を大事にしたいですね。

おむすび通信 (97)